

さいたま市立東岩槻小学校 学校だより 1月号



# すわっ子だより

学校教育目標 ともに伸びる子  
かしこく ゆたかに たくましく  
令和7年1月7日(火)  
第11号 発行責任者 川添 倫義  
在籍児童数154名  
<http://higashiwatsuki-e.saitama-city.ed.jp>

## 蛇の池

校長 川添 倫義

あけましておめでとうございます。今年巳年です。巳（へび）といえば、先日訪れた武蔵一宮氷川神社にパワースポットと言われる「蛇の池」という場所がありました。この池は見沼の水源の一つで、現在も地中深くから水が湧き出ています。蛇は水の化身といわれており、その由来からこの名前がつけられたそうです。

「見沼田んぼ」の地域は江戸時代には日光の中禅寺湖ほどの大きな沼で、フナ、シジミ、ウナギなどが豊富にとれました。子どもたちも第4学年の社会科で井沢弥惣兵衛と見沼代用水について学習します。弥惣兵衛が多くの人々のために米作りの田んぼを必要と考えたその願いに感心し、見沼を人々に預けて天に昇ったとされる竜神が、今も空からさいたま市を見守っているという言い伝えがあります。

12月の個人面談では、学校までお越しいただきありがとうございました。皆さまとお話しできたことを、今後の指導や支援に活かしてまいります。また、12月13日に行われた5年生の社会科見学では、首都圏外郭放水路やスキップシティを訪れることができました。今年度予定していた宿泊学習、遠足、社会科見学を無事に全て実施することができました。ご協力いただき、ありがとうございました。

さて、2024年の大リーグでは、大谷翔平選手が前人未到の「50-50」を達成し、MVPを獲得しました。そのシーズンが始まる前、TVで大谷選手の大ファンであるというカリフォルニア在住の日本人の方のインタビューを拝見しました。その方は「ケガだけはしないで、夢をかなえてほしい。いつまでも投げたり打ったりする姿を見てみたいです」と語り、その様子がとても幸せそうでした。その姿を見ている私も幸せな気持ちになり、人を応援するという行為が、応援している人自身を幸せにするのだと感じました。

以前、流行語大賞にもノミネートされた大谷選手の「憧れるのをやめましょう」という言葉をWBC開催時に聞いたとき、松坂大輔選手の「いろんなことは夢じゃなくて、目標ですから」という言葉が頭に浮かびました。人は夢を目標に変えるときに「憧れるのをやめる」のだらうと思います。

新しい年が、皆さまにとって目標を実現し、大きく飛躍する一年となりますよう心からお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。